

平成30年11月29日会議概要

第1 日時

平成30年11月29日（木）午前9時から午後1時20分までの間

第2 出席委員

石川委員長、渡部委員、平林委員、長谷委員、森委員

第3 全体会議

[警察幹部出席者]

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、警察学校長、近畿管区警察局京都府情報通信部長

1 委員報告

(1) 非違事案防止のための講話・懇談

(長谷委員) 11月20日、下京警察署で幹部を対象とした非違事案防止のための講話と懇談を行いました。皆さんには、「できる限り部下と対話して、直接、自分の考えを伝えてもらいたい。」「単に表面的に部下を観察するのではなく、きちんと部下の立場に立って観てあげることが一番大切である。」と訴えかけてきました。

(2) 南山城ブロック署長会議

(長谷委員) 11月20日、南山城ブロック署長会議に出席しました。共通議題は、優秀な人材の確保と若手警察官育成の現状と課題、ブロック別議題は、運転免許証の自主返納が困難な地域における高齢運転者の交通事故防止でした。いずれの議題についても各署の課題を踏まえた適確な対策に特色が出ていると感じました。優秀な人材の確保については、大学生ならば1回生の段階から勸奨活動を行うなどして、できるだけ優秀な学生を確保してもらいたいと思います。また、高齢運転者の交通事故防止については、地域の特性に配慮した取組を、しっかりと進めていただきたいと思います。

(3) 全国公安委員会連絡会議

○ **(石川委員長)** 11月26日、東京都内で開催された全国公安委員会連絡会議の総会に出席しました。警察庁長官は、テロ対策、特殊詐欺対策、交通事故死者数の減少等について述べておられ、また、「働き方改革を含め、組織がしっかりとしたものではないと職務執行も完全なものにはならないので、その点についてしっかりやっていただきたい。」とのことでした。

○ **(渡部委員)** 「変容する社会と警察」を討議テーマとする第2分科会に出席しました。静岡県は特殊詐欺の防犯先進県と自負しておられ、自治体と連携して高齢者宅に「迷惑・悪質電話防止装置」の取り付けを推進しておられました。取り付けを終了した自治体では特殊詐欺被害ゼロが続いているとのことで、非常に参考になると考え、この場で報告させていただきました。

○ **(平林委員)** 元総務大臣の増田寛也氏から「縮小社会を考える」と題する講演を拝聴しましたが、人口が減少していく社会の中で、どのように活路を見いだすかというものでした。

分科会については、渡部委員と共に第2分科会に出席させていただきました。京都の現状として、少年を犯罪から守る、加害少年の更生を助けるといった観点から、スクールサポーター、ネット安心アドバイザーの活動、公安委員会と教育委員会の意見交換会、家庭裁判所裁判官等との少年審判に係る意見交換を行ったことなどを報告しました。

- **(森委員)** 第3分科会に出席し、「縮小社会を考える～増田氏の講演を受けて～」をテーマに討議に参加しました。さらなる採用の拡大と人員不足、警察業務の合理化・効率化、警察業務の選択と集中等について議論しました。

京都からは、AIを活用した業務の効率化について報告しましたが、他府県では、iPadを利用した業務を推進しているところもあり、また、業務の選択と集中については民間団体との連携と委託について意見が出ていました。

(4) 拳銃射撃競技大会

(渡部委員) 11月28日、府下拳銃射撃競技大会を視察しました。選手の皆さんが真剣に競技をされ、50点満点を出されるなど、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮しておられました。昨年、京都で拳銃を使用して犯人を制圧逮捕する事案も発生しており、本年は富山県や宮城県で警察官が殺害される事案が発生していることから、拳銃使用を含めた術科訓練の必要性を強く実感しております。

2 報告事項

(1) 第54回京都府警察拳銃射撃競技大会の結果について

警務部長から、平成30年11月28日、京都府警察学校射撃場で行われた第54回京都府警察拳銃射撃競技大会の結果について報告があった。

平林委員から、「拳銃の特別練習生でない女性の地域警察官がすばらしい結果を残しているが、女性の新たな能力開発につながるので、継続して拳銃射撃技能を指導していただきたい。」との発言があった。

(2) 「鍵ー1グランプリ2018」コンテスト結果及び表彰式の開催について

生活安全部長から、学校駐輪場における自転車の施錠率等を競う「学校対抗自転車鍵かけコンテスト」及び自転車の鍵掛け等をテーマとした「自転車鍵かけイラストコンテスト」からなる、「鍵ー1グランプリ2018」を開催中のところ、優秀校及び優秀作品が決定したことから、平成30年12月9日、京都府公館で開催する表彰式の出席者、内容等について報告があった。

(3) 第36回京都府警察現場鑑識競技会の実施結果について

刑事部長から、平成30年11月15日、警察学校体育館で実施した第36回京都府警察現場鑑識競技会の結果について報告があった。

(4) 「祇園・木屋町地域暴力団排除対策」の実施について

刑事部長から、平成30年9月、六代目会津小鉄会幹部等の検挙により、「祇園・木屋町」地区の多数の店舗が「みかじめ料」を支払っている事実が確認されているほか、年末年始にかけては、暴力団が飲食・風俗利権を狙った資金獲得活動を活発化させる時期でもあることから、府民の暴排意識の高揚等を図るため、平成30年12月4日、祇園・木屋町地区で実施する「祇園・木屋町地域暴力団排除対策」の概要について報告があった。

(5) 「第8回自転車交通安全CMコンテスト」の審査結果及び表彰式の開催について

交通部長から、制作者が自転車の安全利用、交通事故防止等について考えるきっかけとするとともに、あらゆる年齢層の自転車利用者に対し安全利用を呼び掛けるために実施した「第8回自転車交通安全CMコンテスト」の審査結果と、平成30年12月2日に開催される表彰式の概要について報告があった。

(6) JR西日本京都駅テロ対処合同訓練の実施について

警備部長から、G20大阪サミットや2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、テロ発生時の初動対応要領や訪日外国人安全対策の向上を図るため、平成30年12月14日、JR西日本京都駅において、警察、消防及びJRが協働して実施するテロ対処合同訓練の概要について報告があった。

石川委員長から、「非常時における外国人の誘導要領は、きっちり訓練していかなければならない。」との発言があった。

3 本部長報告

本部長から、

- テロ対処合同訓練については、最近、様々な事案が発生している中で、警察を始めとする関係機関が、いかなる事案に遭遇しても的確に対応できるよう実施したい。
- 「鍵-1 グランプリ」については、生徒の自転車通学の実態を学校側が把握していると思われるので、指導対象のターゲットとして、それらを把握しておく必要がある。それを踏まえてどのようにグランプリを実施すべきか、改良すべき点等を検討したい。
- 自転車交通安全CMコンテストについては、作品のレベルが非常に高く驚いた。今後も継続して実施していきたい。

旨の報告があった。

第4 個別会議等

1 審議事項

(1) 警察官等に対する被服の支給及び装備品の貸与に関する条例施行規則（京都府公安委員会規則）の一部改正について

装備課調査官から、警察官等に対する被服の支給及び装備品の貸与に関する条例施行規則（京都府公安委員会規則）において、取消処分者講習従事員の被服が定められているが、貸与の必要性を認めないことから、同規則からの文言の削除を内容とする規則の一部改正を行うことについて説明があり、審議の上、一部改正を了承した。

(2) 道路改良に伴う最高速度規制の見直しについて

交通規制課担当補佐から、京丹後警察署管内の国道312号は、京丹後市久美浜町においての移設整備の終了及びそれに伴う道路規格の変更により最高速度規制を見直す旨の説明があり、審議の上、見直しを決定した。

(3) 公安委員会宛て苦情等申出について

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して、通知案1件の説明があり、審議した。

(4) 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見

聴取の結果について説明があり、審議の上、6件の行政処分を決定した。

2 報告事項

(1) 監察案件について

首席監察官から、監察案件について報告があった。

(2) 集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例の申請許可状況について

警備第一課担当補佐から、平成30年10月中に受理した「集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例」に基づくデモ行進の許可申請に係る専決事務の処理状況について報告があった。

(3) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。